

一般社団法人日本循環器看護学会  
平成 28 年度第 2 理事会議事録

- 1 日 時 2017 年 5 月 28 日（金）14 時 00 分から 16 時 00 分まで
- 2 場 所 東京女子医科大学看護学部第一校舎 2 階 121 会議室  
東京都新宿区河田町 8-1
- 3 出席者 吉田俊子（理事長）  
三浦稚郁子（副理事長）  
池亀俊美、伊藤文代、宇都宮明美、岡田彩子、落合亮太、小泉雅子、齊藤奈緒、  
竹原 歩、田村綾子、仲村直子、簗持知恵子、三浦英恵（以上理事）  
眞嶋朋子（監事）  
以上理事 16 名中 15 名出席（定足数 8 名）
- 4 欠席者 角口亜希子、瀬戸奈津子（以上理事）  
眞茅みゆき（監事）
- 5 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果  
以上のとおり定款第 28 条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会が成立したので、定刻、吉田理事長は議長席に着き、開会を宣し、議事に入った。

第 1 号議案 平成 28 年度第 1 回理事会議事録（案）確認の件

議長より、平成 28 年度第 1 回理事会議事録（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

第 2 号議案 新規入会・退会者の承認の件

池亀総務委員長より、新規入会者・退会者の一覧が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

入会希望者が 207 名、退会希望者が 91 名であった。

今後は、自然退会者の割合について確認することとする。

第 3 号議案 入会申込時の確認事項に関する件

池亀総務委員長より、入会申請フォームにおける「学会内の選挙の際に、氏名と所属を投票用紙に記載することについて」、「承諾する・承諾しない」との設問について、「承諾しない」を選択した会員の被選挙権がなくなってしまうため、設問の修正が提案された。議場にて討議がなされたところ、「学会内の選挙の際に」との記載のみでは状況理解が困難であるため、「被選挙人となる場合」と追記することとした。また、氏名の記載については問わず、「所属を記載すること」について問う形式にすることとして、設問の文言は総務委員会にて検討することとなった。

第 4 号議案 平成 29 年度事業計画（案）の件

議長より、平成 29 年度事業計画（案）が示され、各委員会委員長より平成 29 年度事業計画について説明が

なされた後、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

#### 1) 学術委員会

岡田学術委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 教育セミナーを年3回開催する。
- (2) 循環器看護領域の学術的基盤の構築と発展に向けた Statement、用語、定義等の検討をする。
- (3) 日本の循環器看護領域の学術的発展の推進のあり方の検討を目的として、海外の循環器看護に関連する会との交流を図る

また、議場より、Statement、用語の定義について、今後の進行計画を作成してはどうか、との意見があり、委員会にて検討することとなった。

#### 2) 学会誌編集委員会

旗持学会誌編集委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 学会誌年2回（第13巻第1号,第13巻第2号）の発行、第14巻第1号の発刊準備
- (2) 電子投稿システム（可能ならば査読システム）導入と運用の評価
- (3) 投稿原稿の活性化へ向けての対策の検討と実施

学会誌への論文投稿数が少ない問題への対策について、議場に意見が求められたところ、以下の意見開陳がなされた。

- ・ 査読期間を短縮してはどうか。
- ・ 査読回数を増やす、または減らしてはどうか。
- ・ 査読が厳しすぎるのではないか。
- ・ 共著者が非会員でも、投稿料を支払えば投稿可能としてはどうか。
- ・ 実践報告・事例報告の書き方を会員に指導してはどうか。
- ・ 学術集会にて、座長推薦などの制度を作ってはどうか。

対策については今後の検討事項とし、まずは理事の所属施設より投稿を勧奨していただくように周知がなされた。

#### 3) 政策・診療報酬委員会

宇都宮政策・診療報酬委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 循環器看護分野の政策的課題の検討
- (2) 循環器看護分野における診療報酬獲得に向けての検討、関連学会との連携・渉外
- (3) 医療保険に関する外部機関への会議等の出席、および渉外
- (4) 心不全患者の再入院予防介入プログラム研究の実施（看保連助成金）

#### 4) 広報委員会

落合広報委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 学会ホームページ 会員専用コンテンツの充実
- (2) 会員の研究・臨床実践活動に関する広報活動推進
- (3) ニュースレター第10・11号の発行
- (4) メーリングリスト導入の検討

#### 5) 倫理委員会

小泉倫理副委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 申請のあった研究に対して、規定に基づき倫理審査を行う。
- (2) 個人情報保護に関する問題が生じた場合に対応を行う。
- (3) 研究に関する利益相反に関して問題が生じた場合に対応を行う。
- (4) 一般社団法人日本循環器看護学会倫理綱領に関する問題が生じた場合に対応を行う。

議場より、以下の意見開陳がなされた。

- ・ 会議費が必要となるため、予算を増額すべきである。
- ・ 倫理指針が改訂されたため、対応を検討すべきである。
- ・ 利益相反について、指針の策定等を含めて検討すべきである。

上記の意見について、今後、委員会にて検討することとなった。

#### 6) 国内交流委員会

池亀国内交流委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 本法人の国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流をはかる。
- (2) 上記 1 にともなう、本学会の窓口となる。

#### 7) 選挙管理委員会

伊藤選挙管理委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 次回実施される選挙に向けて、必要事項、書類の準備を行う。
- (2) 前回実施した選挙を振り返り、選挙管理委員会細則の検討を行う。

#### 8) 総務委員会

池亀総務委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 会員管理のシステム化
- (2) 各委員会の活動支援、調整
- (3) ホームページ等を活用した会員への情報発信
- (4) 理事会、社員総会、会員総会の運営補助
- (5) 会員獲得に関する事業

また、パスワード通知書の発送費用が約 23 万円発生することが示された。

以上の事業計画については次回理事会にて承認することとし、修正がある場合は、6月19日までに事務局へ修正された資料を送付することが確認された。

#### 第 5 号議案 平成 29 年度予算（案）の件

議長より、平成 29 年度予算（案）が示され、説明がなされた後、各委員会予算を見直すこととして次回理事会にて承認することとなった。

また、教育セミナー業務の学会支援機構への委託費用については、総務委員会予算ではなく、学術委員会予算内で行うことが確認された。

#### 第 6 号議案 医療調査事故調査制度における、医療安全調査機構との協力協定の可否に関する件

池亀総務委員長より、資料をもとに、医療調査事故調査制度における、医療安全調査機構との協力協定について、そのメリット及びデメリットが説明され、議場にて討議がなされたところ、協力することを前向きに検討することとなった。

第7号議案 委員会開催時の議事録を事務局へ保管する件

池亀総務委員長より、委員会規定に委員会開催時の議事録を事務局へ保管することを定めた以下の第5条第2項を追記することについて、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議事を整理する。

2 対面委員会の議事録は、事務局にて保管する。メール会議などによる議事録は、必要時、事務局にて保管する。

第8号議案 国内交流委員会新委員就任の件

池亀国内交流委員長より、新委員として遠藤美代子先生が推薦され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

第9号議案 国内交流委員会委員長交代の件

池亀国内交流委員長より、新委員かつ新委員長として仲村直子先生が推薦され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

第10号議案 日本循環器心身医学会ジョイントシンポジウムの件

池亀国内交流委員長より、日本循環器心身医学会とのジョイントシンポジウムを開催要望について、資料をもとに説明がなされ、議場にて討議がなされたところ、ジョイントシンポジウム開催については承諾することとし、その座長については国内交流委員会にて検討することとなった。

第11号議案 選挙終了後の選挙投票用紙及び集計表の処理に関する件

伊藤選挙管理委員長より、選挙終了後の選挙投票用紙及び集計表の処理について、代議員・理事・監事の選出に関する実施細則に以下の規定を追記することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

投票用紙及び集計表は、社員総会で承認された後に、シュレッターで廃棄する。

代議員選出に関する実施細則、および、理事及び監事の選出に関する実施細則に追記し、総会で報告することとする。

第12号議案 慢性心不全患者の再入院予防プログラム研究の倫理審査に関する件

宇都宮政策・診療報酬委員長より、資料をもとに慢性心不全患者の再入院予防プログラム研究について説明がなされ、その研究を学会内倫理委員会にて審査することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

また、議場より、他の研究機関に費用を支払い、倫理審査を依頼してはどうか、との意見がなされ、学会で実施した場合との費用を比較し、委員会にて検討することとなった。

さらに、議場より、看保連の助成金だけでは資金が足りない、との意見がなされ、議場にて討議がなされたところ、政策・診療報酬委員会の予算を増額することとなった。

第 13 号議案 一般社団法人日本循環器看護学会ホームページ運用内規改正に関する件

落合広報委員長より、一般社団法人日本循環器看護学会ホームページ運用内規に以下の規定を追記することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

第 11 条 本会外から公式ホームページへのリンクの依頼については、公共性が高く、かつ本会に有益であると認められたものについて、管理者、運営責任者が協議の上、許可するものとする。

2 本学会ホームページからのリンク先は、公益社団法人、一般社団法人、特非営利活動法人として認可された学協会および患者団体の公式ホームページとし、管理者、運営責任者が協議の上、決定するものとする。

第 14 号議案 ニュースレター第 11 号企画案に関する件

落合広報委員長より、以下のニュースレター第 11 号企画（案）が示され、説明がなされた後、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

ニュースレター第 11 号企画（案）

- ・学会の開催概要：1 ページ
- ・学会誌の概要（目次）：1 ページ
- ・循環器看護への貢献度の高い先生からのリレーメッセージ：1 ページ
- ・臨床 1 名、研究 1 名の若手からの活動紹介：各 0.5 ページ

第 15 号議案 メール配信に関する件

落合広報委員長より、会員向けに学会活動状況を連絡するメール配信を、各季 1 回を目処に実施することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

教育セミナー情報や学術集会情報を掲載することとして各所管部と連携することとなった。

第 16 号議案 ホームページ会員専用ページコンテンツ案に関する件

落合広報委員長より、ホームページ会員専用ページコンテンツについて、以下の A 案・B 案が示され、議場にて討議がなされたところ、まずは B 案の内容で開始し、今後 A 案への移行が必要であれば、社員総会での承認を得ることとして進めることとなった。

A 案：会員には専用ページにて最新号も含めて全文公開。非会員には最新号は目次のみ公開とし、バックナンバーは公開する。

B 案：会員については、専用ページにて最新号も含めて全文公開。非会員には最新号・バックナンバーともに目次のみ公開する。

また、落合広報委員長より、社員総会及び理事会の議事録を本会ホームページにて一般公開することが提案され、議場にて討議がなされたところ、法人化されて以降の社員総会及び理事会の議事録、事業計画、事業報告を一般公開し、各委員会情報は会員ページにのみ公開する方向で進めることとなった。

以上の内容で公開準備を進めることとし、公開時期については、会員が等しく ID 及び PW にてログインできる状況となってから公開することとなった。

#### 第 17 号議案 学会誌投稿規程に関する件

旗持学会誌編集委員長より、以下の学会誌投稿規程第 4 項の改正（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、人を対象とする医学系研究に関する指針の交付機関名及び年度を記載することとして承認された。

#### 4. 倫理的配慮

日本看護協会の「看護研究における倫理指針（2004 年）」,人を対象とする場合は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を踏まえ、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されていること。

#### 第 18 号議案 電子投稿システム・査読システムに関する件

旗持学会誌編集委員長より、電子投稿システム・査読システムを導入することが提案され、導入に関するメリット・デメリット及びその費用について説明がなされた後、議場に意見が求められたところ、システムの使用感や内容について、他学会での利用状況も含めて、より詳細な内容と見積りを確認することとし、今後の検討事項となった。

#### 第 19 号議案 平成 29 年度セミナー関連事業の委託について

岡田学術委員長より、セミナー関連事業の学会支援機構への委託が提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

#### （報告事項）

#### 1. 平成 28 年度事業進捗状況報告

各委員会委員長より、資料をもとに、事業進捗状況について報告がなされた。

#### 2. 平成 28 年度上半期決算報告

池亀総務委員長より、資料をもとに、標記報告事項について説明がなされた。

#### 3. 第 13 回学術集会実施状況報告

瀬戸前学術集会長より、標記報告事項について以下の通り説明がなされた。

参加者数 会員：391 名 非会員：615 名 学生 8 名 合計 1,014 名

一般演題 口演：44 題（登録 44 題中） ポスター：53 題（登録 53 題中）

優秀演題：優秀演題 30 題中 最優秀演題エントリー 4 題

また、議場より、懇親会の収支について、懇親会収入のみで懇親会支出を補てんできているかがわかるように、記載を修正するよう意見があり、運営事務局にて検討することとなった。

#### 4. 第 14 回学術集会準備状況報告

田村学術集会長より、資料をもとに、標記報告事項について、以下の通り説明がなされた。

- ・口演 60 件、ポスター 28 件、計 103 件の演題登録があった。
- ・最優秀演題については、口演 33 件、ポスター 12 件、計 45 件の登録があった。
- ・優秀演題審査委員長は旗持先生が務める予定である。

議場より、理事会及び社員総会を会期前日 9 月 8 日（金）に開催する必要があるとの意見があり、議場にて

開催時刻が検討されたところ、15時から17時まで理事会、17時30分から18時30分まで社員総会を開催することとなった。

#### 5. 第15回学術集会準備状況報告

旗持次期学術集会長より、標記報告事項について説明がなされた。

- ・日時：2018年10月27日（土）～28日（日）
- ・会場：大阪国際交流センター（大阪市天王寺上本町8-2-6）
- ・運営会社：(株)JTB 西日本 MICE 事業部

また、旗持次期学術集会長より、趣意書を作成して良いか議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上